

## 平成26年度村政懇談会地区自治会質問・要望書兼回答書

【地区自治会名】 村松地区自治会

【質問・要望事項(題目)】村道(駆け上がり道路, 川根, 宿区内)の全面改修工事について

【要旨(内容)】

当該駆け上がり道路は国道245号への通過道路として、村内でも大型車両の通過量が一番多い道路であると思われる。

昨年度要望した事項であるが、道路と橋との接合部等については、一部補修工事が施工されたが現在でも大型車両(ダンプカー, タンクローリー, トレーラー等)の通行時に異常な振動と騒音で周辺の民家に被害が発生している状況である。

また、茨城県企業局の工業用配水管の敷設工事による埋設箇所沈下により路面に亀裂が生じており、既設の道路敷は水田を埋め立ててできているために道路の沈下が著しいと考えられる。

以上の状況を考慮し、道路地盤の全面改良工事と早朝及び夜間に於ける大型車両通行時の走行振動の調査をお願いしたい。

また、今後の工事の実施計画について伺いたい。

【回答】

《建設農政部 みちづくり課》

今年度、都市計画道路につきましては調査点検をおこなっていく予定でございます。その結果を基に優先順位を決め順次整備を行っていく考えでございます。また、通行時に異常な振動や騒音により周辺の民家に被害が発生しているとのことなので、現地確認を行い、影響の度合いを見て対応を考えていきたいと思っております。

平成26年度村政懇談会地区自治会質問・要望書兼回答書

【地区自治会名】 村松地区自治会

【質問・要望事項(題目)】五反田線の国道245号線までの延伸について

【要旨(内容)】

五反田線の道路用地の一部については、細浦土地改良区において道路敷用地として平成19年8月に用地の確保を行い6年が経過している。

動燃駆け上がり線の朝夕の交通渋滞の緩和、真崎区及び宿区内の村道は国道245号線へのアプローチ道路としての利用者の増加による通学路の安全性が問われる状況にあること、また自然災害に対する住民の避難道路の確保など。

このような観点から五反田線の国道245号線までの延伸については、村松地区自治会の総意であり強く要望するところである。

村当局の考え方について伺いたい。

【回答】

《建設農政部 みちづくり課》

東海駅五反田線の国道245号までの延伸については、時の経過とともに、この延伸事業を取り巻く社会経済情勢などが大きく変化しております。特にこの細浦地区は東海十二景の細浦青畝がありまして、文化庁の募集した文化的景観の二次審査に残るなど、水田景観として豊かな自然が残されております。また、平成23年度に実施された生物多様性の概念に基づく「東海村動植物生態系調査」においても「押延～天神山」周辺は「東海村の特徴的な自然」を象徴する地区として調査されております。その結果、特に細浦北側村松小学校下においては、ゲンジボタルとヘイケボタルが村内で最も多くの生息が確認されております。このように水辺や斜面林など自然が豊富で動植物の生息に適しており、多様な生物、植生がみられる貴重な地域となっていることが報告されております。さらに、斜面においてはヤマザクラの開花時期は水田を含めてみごとな景観を呈しているところでもございます。また、「緑の基本計画」の中では、自然環境・緑地・生態系の保全を図る区域として位置づけられております。

これらの状況を踏まえ、細浦地区においてはこの貴重な自然環境を保全して行くことが大変重要と捉えており、東海駅五反田線の延伸を取りやめることに至ったところでございます。

なお、既に確保されている道路用地については、みどり豊かな自然景観を次世代につなぐためにも、阿漕ヶ浦公園と天神山周辺地域の一帯化を図れるような、遊歩道や散策路としての活用を検討してまいりたいと考えており、今後、説明会等で地域の方々と具体的な話し合いを進めてまいりたいと考えております。



【地区自治会名】 村松地区自治会

【質問・要望事項(題目)】観光の活性化について

【要旨(内容)】

東海村では村政の4本柱として教育・福祉・農業・環境があり、今回新たに商工観光が追加され、5本柱として村政の推進を図っているところである。

商工観光については、村松山虚空蔵尊堂、大神宮については「大空マルシェの開催」、「観光ボランティアガイドの導入」など、新たな展開があり地元自治会として大いに期待しているところであり、村松山虚空蔵尊堂、大神宮への参拝客及び観光客、阿漕が浦運動公園の「桜まつり」への観光客など、経済の活性化を図るべく観光行政に対する考え方について伺いたい。

【回答】

《村長公室 まちづくり推進課》

大神宮・虚空蔵堂のPRの場として、昨年初めて「大空マルシェ」を開催し好評を得たこともあり、今年度も開催する予定となっております。

また、観光ボランティアガイドの方々も大変好評をいただいております。昨年度4,500名以上の方々にガイドを行いました。

一方、さくらまつりについては、震災以降イベントは行っておらずライトアップのみですが多くの方に来場していただき大変好評をいただいているところです。

さらに、東海村を訪れる方々に喜んで買っていただけるようなお土産づくりも観光協会と連携して取り組んでいるところであります。

村としましては、地域の方も積極的に参加でき、村民・観光客に「また来たい」と言ってもらえるイベントづくりなど、今後も観光協会と連携し取組んでまいりたいと考えており、村全体の魅力を広くPRするためにもホームページ・フェイスブック・ツイッター・広報紙などを通じて積極的に支援してまいりたいと考えております。